

令和5年度社会を明るくする運動 新洞、川東 ミニ集会

法務省主唱

第73回「社会を明るくする運動」ミニ集会のご案内

向暑の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は地域の安心・安全活動にご尽力を賜り、誠に有難うございます。

さて、「社会を明るくする運動」の強調月間に入り、全国規模で活動が展開されている中、今回私たちは「犯罪被害者と更生保護」にスポットを当て、他地域との3夜シリーズ開催をさせて頂く事となりました。

どうぞお誘い合わせの上、奮ってご参加いただきますようご案内申し上げます。

メインテーマ「犯罪被害者と更生保護」

第1夜 「平凡な家族から突き落とされたあの日…」

日時：7月15日（土）受付18：00 開会18：30～

場所：元新洞小学校 1階 第2会議室

講演と対談：NPO法人ルミナ理事長 中江美則 氏

保護司 信ヶ原雅文（檀王法林寺住職）



2012年4月23日に起こった、亀岡集団登校交通事故で犯罪被害者遺族中江氏に温かい手を差し伸べたのが、亀岡保護司会のご住職大谷俊定氏。交通死亡事故が無くなるまで、また風化させないという思いで、事件当日の毎年4月23日、事件現場で法要をされています。

これは、前後して2012年4月12日に起こった、京都祇園暴走事故を風化させないよう、「慈悲」の言葉に「犠牲者に慈悲の気持ちをもち、少しでも遺族の悲しみを癒やす」という意味を込めたとお話しされた、住職でもあり保護司の信ヶ原先生と通じるものがあるのでは…

そして、中江氏の新たな活動が始まります…第2夜・第3夜と続きます…

主催：新洞・川東地域保護司（左京区保護司会）

協力：新洞連合会、左京南地区更生保護女性会、新洞女性会、新洞社会福祉協議会、川端少年補導委員会新洞支部、新洞学区民生児童委員協議会

共催：岡崎地域保護司、吉田・聖護院地域保護司、浄楽・錦林東山地域保護司（左京区保護司会）

❖ お問い合わせ 新洞・川東地域保護司 信ヶ原雅文 Tel：771-0870

第2夜 「被害者遺族の思いを社会へ伝える」

日時：7月22日（土）受付18：00 開会18：30～

場所：白川児童館 コミュニティスペース
（コーディネーター：浄楽・錦林東山地域保護司）

COMING
SOON

第3夜 「更生保護にどう関わるか？」

日時：7月29日（土）受付18：00 開会18：30～

場所：錦林小学校 ふれあいサロン
（コーディネーター：岡崎・吉田聖護院地域保護司）



社会を明るくする運動京都府推進委員会
マスコットキャラクター「京の社明くん」

日時: 令和5年7月15日(土)18時30分～ 20時00分

場所: 元新洞小学校第2会議室

メインテーマ「犯罪被害者と更生保護」

第1夜「平凡な家族から突き落とされたあの日、、、」

講師: 信ヶ原雅文氏 檀王法林寺住職

中江 美則 氏 法人ルミナ理事長

2012年4月23日に起こった亀岡集団登校交通事件の被害者遺族である中江氏と、同4月12日に起こった祇園暴走事故の法要を毎年続けておられる信ヶ原住職の講演と対談。

パワーポイントによる事故の振り返りと、現在に至るまでのお二人の活動を紹介。

亀岡集団登校交通事件の悲惨極まりない事故に加え、情報漏洩、根拠のないネットによる誹謗中傷、嫌がらせという二重三重の苦しみを受ける中、自分と同じような苦しみ、悲しみ、憤りを持つ人が生まれないように、加害者を作らない＝更生保護の活動も進められている。

信ヶ原住職は保護司という更生保護の活動に加え、祇園暴走事故の法要を勤められ、その法要には保育園の年長組を参加させ「大人になったら優しい運転をする人になるんだよ」と語りかけている。

犠牲になった方を法要することで事故を風化させない。

語り継ぐことで二度と悲惨な事故が起こらないように、と祈っている。

共通したお二人の思いが参加者の皆様の心に届いた様子であった。

少年法改正について、どう感じているか？という会場からの質問も出た。

また、ネットによる第二次被害に対しても許せないし、我々が慎重に対処していかねばならない問題、との意見もあった。

参加者合計38名 内保護司11名(信ヶ原雅文、中井京子、三品美紀、川見善孝、鈴木美智子、村上ますみ、佐伯知彦、堀内寛昭、佐藤恭子、澤田清人、中林五月)

関係団体名とその人数

左京南地区更生保護女性会5名、新洞女性会12名、新洞体振、民生、仏教会、消防分団6名

NPO 法人ルミナ2名 一般2名